

「ならやま」 の 野の花



奈良・人と自然の会

はじめに

私たち、奈良・人と自然の会のメンバーが日ごろ活動している「ならやま」は、ベースキャンプを核に、雑木林、竹林、畑地、水田、ため池、サイクル道など変化に富んだ景観が形成され、いろいろな植物が自生し、多くの昆虫が生息し、都会に残されたユートピアとなっています。

蝶をはじめとする昆虫類に関しては、菊川氏がまとめられた貴重な資料があり、多くの種類が確認され、写真として記録されています。一方、植物に関しては多くの種類が自生しているのは確かではあるが正確な分布調査はおこなわれておらず、少なくとも 100～150 種くらいはあるのでは推測されているに過ぎません。

ならやまに自生する植物の記録としては、西谷さんや守口が活動の合間に自生を確認したリスト（未公開）と記録写真（パンフレットに活用）が残されているに過ぎず、まだ未記録な種も少なくありません。

ならやまで日々活動する折に目にする植物が何と言う名前なのだろうか？と思ったときの手引きになる物があると便利だなと言う声もあり、昨年草花の写真を本腰を入れて撮り始めました。なかなか全ての種類を網羅するのは難しいですが、全体の 80～90%は集まったものと思われしますので、資料としてまとめ、ホームページに掲載しましたのでご活用くださると幸いです。

まだ、今年の調査によって追加があると予想されるので、現段階では所属する科単位でまとめました。今年の春季の調査を追加して、秋には全種類を集版してひとつにまとめたいと思っております。

まとめるにあたり、当会の多くの方の情報提供とアドバイスがあったことに厚く感謝します。

2018年2月

使用にあたって

掲載した種類

野の草花が中心ですが、分類上樹木ではあるが草花のような感じの樹木は含めました。とくに蔓植物に関しては取捨選択に迷い、かなり身勝手な選択になりました。

写真は花を基本としましたが、葉の方が分かりやすい種は葉にしました。

2種類以上を含む種は科を起こしましたが、1種しかない科は雑科にまとめました。

分布

私たちの活動地区「ならやま」内で該当する草花が自生している場所です。スペースの関係で、場所の表記は下記のように略称にしました。

表示なし：林地を除く平坦地全域

(ベースキャンプ、サイクル道、彩の森、実りの森、佐保自然の森)

BC：ベースキャンプ地で、JRの線路から第2、第3駐車場までの平坦地

CY：サイクル道沿い

彩の森：第2、第3駐車場から東に延びる平坦地、樹陰地が多い。

里山林（ならやま里山林）：ベースキャンプに隣接する林地

佐保自然の森への道筋

自然林：ならやま里山林を除いた林地

実りの森：旧第5地区で、松林、竹林、ソバ畑を含む地域

佐保：佐保自然の森

その他

自生の多い少ないの判断は、ならやま地区での自生状況に基づくもので一般論とは異なっています。

ラン科植物は希少種保護の観点からここには掲載しておりません。

ハシカグサ (麻疹草)



草丈は 20~40cm。茎は枝分かれの部分から根を下ろす。葉のつけ根に小さな白色の花をつける。花期は 8~10 月。分布：BC

ヤエムグラ (八重葎)



他の植物に寄り掛かって伸び、6~8 枚の葉が輪状につく。茎には下向き棘があり衣服につく。花は黄緑色。花期は 5~7 月。

ヘクソカズラ (屁糞蔓)



つる性で茎や葉をもむと嫌な臭いがする。花は白色で中央が赤く、その形がお灸の跡に似るからヤイトバナとも言う。花期は 8~9 月。

ユウゲシヨウ (夕化粧)



草丈は 20~60cm、よく目立つ紅色の花をつける。元は園芸種だったが逃げ出して野生化した野草。花期は 3~6 月。分布：BC

ヒレタゴボウ (緒田牛蒡)



草丈は 1m に達し、水田や湿地に生え、先端に黄色の花をつける。茎にはヒレがある。花期は 7~9 月。分布：BC

チョウジタデ (丁字蓼)



草丈は 20~90cm で水田や湿地に生える。黄色の小さな花をつけるが、花後の淡紅色の長い子房がよく目立つ。花期は 7~9 月。分布：BC

メマツヨイグサ (雌待宵草)



黄色の花を次々につけて咲き上る。草丈は高く、30~150cm。夜咲きだが、午前中は開いている。花期は 7~9 月。分布：CY

タネツケバナ (種漬花)



草丈は 10~30cm。葉は羽状に裂け、茎の先に白色の花をつける。茎にも葉がつく。湿地に多い。花期は3~5月。分布：BC

ミチタネツケバナ (道種漬花)



タネツケバナによく似るが、小葉は楕円形で、茎にはほとんど葉がつかない。やや乾いたところに自生する。花期は2~3月。分布：CY

ナズナ (薺)



草丈は 10~30cm。ロゼット型で、茎が立ち上がり、先端に白い花をつけ、三角形の果実ができる。春の七草のひとつ。花期は3~6月。

イヌガラシ (犬辛子)



草丈は 10~50cm。葉は長楕円形で周囲には鋸歯がある。茎の先に黄色の花をつけ、果実の莢は長い線形。花期は4~9月。

イ (藺)



湿地に自生する。緑色の細い円柱形の茎が直立し、草丈は0.7~1mになる。茎の中間部に緑褐色の花の塊をつける。花期は8~10月。

ガマ科

ガマ (蒲)



ならやま西池に自生し、草丈は1.5~2m。細長い葉の間から花柄を伸ばし、幅2cm、長さ15~20cmの円柱状の花穂をつける。花期は6~8月。

シダ植物トクサ科

スギナ (杉菜)



草丈は30~40cm。葉のように見えるものもすべて茎。地下茎で広がり、ツクシのあと伸びだす。

スズメノヤリ (雀の槍)



草丈は10~25cm。細長い葉と花柄は地際から伸びる。たくさんの褐色の花が集まってマリ状になる。花期は4~6月。



ツクシは繁殖のための孢子茎で傘の下から孢子をまき散らす。出現期は3~4月。

メヒシバ (雌日芝)



草丈は 40~70cm、茎は地面を這い、節から根をおろす。茎には 3~8 個の花穂を放射状につける。花期は 7~10 月。

アキメヒシバ (秋雌日芝)



メヒシバに似るが、茎は束になって基部から立ち上がる、花穂は小さい。
花期は 8~10 月。

オヒシバ (雄日芝)



茎はやや太く、草丈は 30~60cm。葉は中央脈によって 2 つ折りになる。茎の先は 2~6 個に枝分かれして花穂をつける。花期は 8~10 月。

チカラシバ (力芝)



草丈は 30~80cm、葉は根元から伸び、大きな株になり、ブラシ状の花穂が立ち上がり、黒紫色の剛毛がある。花期は 8~11 月。

チガヤ (茅)



草丈は 30~80cm。明るい草地に自生。花穂は長さ 10~20cm、長い銀白色の毛が密生する。花期は 5~6 月。

チヂミザサ (縮み笹)



草丈は 30~40cm。湿地に自生し、笹のような葉をつける。白緑色の花穂をだし、種子はズボンに付着しやすい。花期は 10~11 月。

エノコログサ (狗尾草)



草丈は 40~70cm。茎の先に長さ 3~8cm の緑色の花穂をつける。花穂は直立または斜行し垂れない。花期は 8~9 月。

アキノエノコログサ (秋の狗尾草)



エノコログサによく似ているが、花穂はやや太く、長く、先が垂れ下がる。小花の先が開いている。花期は

キンエノコログサ (金狗尾草)



草丈は 50~90cm。花穂の剛毛は黄金色で、花期は 8~10 月。

コバンソウ (小判草)



草丈は 30~60cm。茎の先から花穂を伸ばし、長さ 1~2cm の小判のような小穂(小さな花が 7~18 個集まる)をつける。花期は 6~7 月。

スズメノテッポウ (雀の鉄砲)



草丈 20~40cm。水田など湿地に群生する。茎の先から円柱形の花穂を伸ばす。花期は 4~6 月。

スズメノカタビラ (雀の帷子)



草丈 10~25cm。何処にでも自生し、冬でも青々し、早春から淡緑色の花穂をつける。花期は 2~10 月。

ヌカキビ (糠黍)



草丈 30~80cm。湿地に群生する。花穂は大きくて、細かく分岐して淡緑色の小穂をつける。花期は7~10月。

サヤヌカグサ (鞘糠草)



草丈 50cm。湿地に自生する。茎は細くて横に這う。立ち上がった茎の先に2~3本の緑色の小穂をつける。花期は8~10月。

イヌビエ (犬稗)



草丈は 0.6~1.2m。茎の先端に花穂が付き、緑色の小穂がびっしりつく。花期は8~10月。

ケイヌビエ (毛犬稗)



イヌビエの変種で、小穂の先に長いノギ（細く長く伸びた毛）がつく。

メリケンカルカヤ (米利堅刈萱)



草丈は 0.5~1.2m。茎はかたまって直立し、葉の間から短い白色の長毛のある花穂がでる。花期は9~10月。

ジュズダマ (数珠玉)



湿地に自生し、草丈は 2m に達する。上部の葉の間から枝が出て、丸い壺形の葉（果実のように見える）がつく。花期は7~9月。

シマスズメノヒエ (鳥雀の稗)



草丈は 50~100cm。花茎は立ち上がり、枝分かれして 3~7 個の小枝に分かれる。各枝には小穂が 3~4 列に並ぶ。花期は 8~10 月。

タチスズメノヒエ (立雀の稗)



シマスズメノヒエに似るが、草丈が真っすぐに伸びて高い。分岐した枝の長さが長い(2倍)。皆伐地に侵入直後? 花期は 9~10 月。

ススキ (薄)



草丈は 1~2m。株立ちし、ざらついた葉(手が切れる)を広げる。1 本の花穂から多数の枝わかれし、小穂をつける。花期は 8~10 月。

ヨシ (葦)

池の中に自生し、草丈は 1~3m。太い根茎が地中を這いまわって広がる。大きな円すい形の花穂をつける。花期は 8~10 月。

アオミズ (青みず)



湿ったところに自生する。草丈は 30~50cm。葉は柔らかく鋸歯がある。葉柄の基部に淡緑色の花。花期は 7~10 月。分布：BC、彩の森

ヤブマオ (藪苧麻)



草丈は 0.8~1.2m。やや厚い大きな葉で、短い毛を密生する。葉柄の基部から淡緑色の花穂が伸びる。花期は 8~9 月。分布：CY、彩の森

カラスウリ（烏瓜）



つる植物で、夕刻、花卉の先がレース状に細かく裂けた花をつける。果実は長さ 5~7cm、楕円形。花期は 8~9 月。分布：CY、彩の森

スズメウリ（雀瓜）



つる植物で、三角形の葉をつけ巻きひげで他の植物にからまる。花は白色で、果実は球形で緑色。花期は 8~9 月。分布：BC、CY

オオバコ (大葉子)



葉も花茎も地際の株の中心部から伸び出す。花茎は高さ 10~20cm で、小さな白い花を穂状につける。BC で爆発的に増加。花期は 4~9 月。

ツボミオオバコ (蕾大葉子)



葉は細長くて先は尖る。葉や葉柄には短い毛が密生する。花茎は 3~15cm で穂状に花をつけるが目立たない。花期は 5~6 月。

カタバミ (傍食)



草丈は 10~30cm。地面を這って広がる。茎や葉にはシュウ酸を含む。葉は緑色と赤褐色の2タイプがある。花は黄色。花期は5~9月。

オッタチカタバミ (おっ立片喰)



カタバミによく似ている。草丈は10~50cm、茎はすべて地中に伸びる根茎から立ち上がる。花は黄色。花期は5~7月。

ムラサキカタバミ (紫傍食)



葉と花はすべて地際から伸び、花茎の先に数個の紅紫色の花を。おしべの先は白色で、地下にたくさんの鱗茎ができる、花期は5~7月。

カヤツリグサ科

カヤツリグサ (蚊帳吊草)



湿地に自生し、草丈は 30~40cm。茎の先に 3~5 個の長い葉をつける。分岐した茎の先に黄褐色の花穂がつく。花期は 8~10 月。

コアゼガヤツリ (小畔蚊帳吊)



湿地に自生し、草丈は 20~30cm。茎の先に 1~3 個の長い葉をつける。分岐した茎の先に淡黄色の花穂をつける。花期は 8~11 月。

タマガヤツリ (玉蚊帳吊)



湿地に自生し、草丈は 25~60cm。茎の先に 2~3 個の長い葉がある。茎の先に 1cm 前後の暗緑色の丸い花の塊をつける。花期は 8~9 月。

ヒメクグ (姫莎草)



田の畔など湿地に自生し、草丈は 5~20cm。茎の先に直径 8mm 前後の球形の淡緑色の花の塊が 1 個つく。花期は 7~10 月。

ヒデリコ (日照子)



湿地に自生し、草丈は 20~40cm。細かく分かれた茎の先に、小さな褐色の花穂がつく。花期は 7~10 月。

ナキリスゲ? (菜切菅)



林内の乾いたところに自生する。草丈は 40~80cm で、茎の先が枝分かれし、黄褐色の花穂をつける。花期は 8~10 月。

ツリガネニンジン (釣鐘人参)



高さ 0.5~1m。茎の先に釣鐘のような青紫色の花をつける。根は太くて白く朝鮮人参に似る。花期は8~10月。分布：彩の森

ホタルブクロ (蛍袋)



草丈は30~80cm。葉や茎には短い毛がある。花は白色と淡紅紫色がある。自生地は一か所。花期は6~7月。分布：彩の森

キク科

カンサイタンポポ (関西蒲公英)



早春から開花する。ロゼット型で地際から葉と花茎がでる。在来種でセイヨウタンポポ（帰化植物）に圧倒されている。



カンサイタンポポ



セイヨウタンポポ

がく片の反り返りの有無で見分けは簡単。花期はカンサイタンポポが4~5月に比べて、セイヨウタンポポは3~9月で真冬でも見かける。

ノゲシ (野罌粟)



草丈は50~100cm。茎は太くて中空。タンポポに似た黄色の花をつける、茎が伸びるので見分けは簡単。花期4~7月

オニノゲシ (鬼野罌粟)



花はハルノゲシに似るが、葉は緑色が濃く、周りがアザミのように尖り、触ると痛い。花期は5~10月。分布：CY

オニタビラコ (鬼田平子)



草丈は20~80cm。葉はタンポポのように地上に放射状にへばりつくように広がり、花茎の先に多くの花がかたまる。花期は周年。

ニガナ (苦菜)



草丈は30~40cm。葉は細長く、葉の基部は花茎を抱くようにつく。花びらは5~7弁からなる。花期5~7月

キク科

ヒメムカシヨモギ (姫昔蓬)



草丈は高く、0.5~1.5m。小さな白い花びらが頭花の周りに並ぶ。
花期は8~10月。

オオアレチノギク (大荒地野菊)



ヒメムカシヨモギ オオアレチノギク
ヒメムカシヨモギに類似するが、白い花びらがない。花期は8~10月。

ヒメジョオン (姫女苑)



草丈は高く、0.5~1.3m。花の中央部は黄色で花びらは白色。葉の基部は茎を抱かない。
花期は7~10月。

ハルジオン (春紫苑)



ヒメジョオンに類似するが、つぼみの時は頭先の先がうなだれる。茎を切ると中空。葉の基部は茎を抱く。花期は5~7月。

ベニバナボロギク (紅花檻樓菊)



草丈は高く、0.5~0.8m。花びらは小さく、赤レンガ色で、花の頭は垂れ下がる。
花期は8~12月。分布：彩の森。

ダンドボロギク (段戸檻樓菊)



草丈は高く、0.5~1.5m。花びらは淡黄色で、開花後は白色の綿状の冠毛をつける。
花期は8~10月。分布：彩の森。

キク科

ブタナ (豚菜)



タンポポに似た黄色の花をつける。花茎は堅く長く伸び、50cmを超え、枝分かれする。花期は6~9月。分布：佐保

コウゾリナ (髪剃菜)



タンポポに似た黄色の花をつける。草丈はやや高く、0.2~0.9m。茎や葉に剛毛がある。花期は5~10月。分布：CY

ノアザミ (野薊)



草丈は60~100cm。枝分かれした先端に紅紫色の花をつける。葉には尖った棘がある。花期は5~8月。分布：CY

キツネアザミ (狐薊)



草丈は60~90cm。枝分かれした先端に紅紫色の花をつける。葉は柔らかく羽状に裂け、棘はない。花期は5~6月。分布：CY

タカサブロウ (高三郎)



草丈は20~60cm。茎はよく枝分かれし、先端に白色の花をつける。水田の畔など湿地に多い。花期は7~11月。分布：BC、CY

ノボロギク (野檻樓菊)



草丈は10~30cm。枝分かれした茎の先端に黄色の筒状花をつける。葉は柔らかく、細かく裂け、キクナに類似する。花期は周年。

キク科

アメリカセンダングサ (亜米利加梅檀草)



黄色の花をつけるが花びらはない。草丈は高く 0.5~1.5m。茎は紫褐色をおびる。花期は9~10月。分布：BC、CY、実りの森、

コセンダングサ (小梅檀草)



黄色の花をつけるが花びらはない。草丈はやや高く 0.5~1.1m。花期は9~11月。分布：実りの森

ヒヨドリバナ (鶉花)



紫色を帯びた白色の小さな花が先端部にかたまって咲く。草丈は高く、1~2m。林縁部に見られる。花期は8~10月。分布：CY

ハハコグサ (母子草)



草丈は 15~30cm。株全体が綿毛に包まれ、黄色の花をボール状につける。春の七草のひとつ (ゴギョウ)。花期は4~6月。分布：BC

ヨモギ (蓬)



草丈は 0.5~1m。羽状に細かく切れ込んだ葉をもつ。花は淡褐色。葉には独特の香りがあり草餅の材料。花期は9~10月。

ブタクサ (豚草)



草丈は 0.3~1.5m。羽状に切れ込んだ葉をもつ。長い花穂の周りに淡黄色の花がたくさんつく。花期は8~10月。分布：実りの森

キク科

フキ (蔞)



春先、葉よりも先にフキノトウと呼ばれる花茎をのばし、白色の花（雌花）をつける。雄花はやや黄色っぽい。花期は4月。分布：BC

ヨメナ (嫁菜)



やや湿ったところに生え、淡紫色の花をつける。高さ0.5~1.2mだが茎は細く真っすぐには伸びない。花期は8~10月。分布：BC

オオジシバリ (大地縛り)



タンポポに似た黄色の花をつける。葉はへら状楕円形。細長い茎が地上に広がり、花茎がたちあがる。花期は4~5月。

ホウキギク (箒菊)



茎は直立し白色の小さな花をたくさんつける。草丈は高く0.5~1.2m。花期は8~9月。

ウラジロチチコグサ (裏白父子草)



葉の裏が真っ白。葉はへら状で花茎が高く立ち上がり、花は淡褐色で目立たない。花期は6~8月。分布：BC

チチコグサモドキ (父子草擬)



草丈は10~30cm。葉はへら形で、両面に白い綿毛が多い。小花は淡褐色でかたまってつく。花期は6~9月。分布：BC

ハキダメギク (掃溜菊)



径 5mm の小さな白い花をつける。高さ 10～40cm で、葉は幅広で毛が多い。
花期は 4～10 月。分布：BC

セイタカアワダチソウ (背高泡立草)



草丈は非常に高く 2m に達する。大きな円錐形の花序に黄色の花をいっぱいつける。空き地の厄介者。花期は 10～11 月。

アキノキリンソウ (秋の麒麟草)



草丈は 30～80cm。葉は細長く、茎の先端に黄色の花が下から咲きあがる。衰退中。
花期は 8～10 月。分布：実りの森

コウヤボウキ (高野箒)



草本のようであるが小低木。葉は卵形で 1 年枝の先端に白色の頭花をつける。日当たりのよい林内に自生する。花期は 9～10 月。里山林

シロバナニガナ (白花苦花)



紫色を帯びた白い花をつける。葉は小さくて目立たない。2013 年に確認したのみ。
花期は 4～5 月。分布：BC

キンポウゲ科

キツネノボタン (狐の牡丹)



草丈は 30~50cm で水田の畔など湿地に自生。葉は 3 出複葉、黄色の 5 弁花をつけ、実は金平糖状。花期は 4~7 月。分布：BC

タガラシ (田辛し)



草丈は 40~50cm で水田に生える。葉は深くき裂する。黄色の 5 弁花をつけ、果実はラクビーボール状。花期は 4~5 月。分布：BC

センニンソウ (仙人草)



つる性で、葉は 3~7 小葉からなり、3cm 前後の白色の花がたくさんつく。晩秋に羽毛のある種が飛び散る。花期は 8~9 月。分布：彩の森

ウマノアシガタ (馬の脚形)



草丈は 30~60cm、葉は深く 3 裂または 5 裂する。黄色の 5 弁花をつけ、果実は球形となる。花期は 4~5 月。分布：BC

ヒメウズ (姫烏頭)



草丈は 15~30cm と小さい。根元から葉柄をだし 3 小葉に分かれる (オダマキの葉に似る)。花は白色。花期は 3~5 月。分布：BC

ヒメリュウキンカ (姫立金花)



草丈は 5~10cm。地際から心形葉を四方に広げ、葉や黄色の花びら (がく片) には艶がある。急増中の外来種。花期は 2~3 月。分布：BC

カナムグラ (鉄葎)



つる性で茎や葉柄には下向きの棘がある。田の植物にからみつき広がる。花は小さく淡緑色で目立たない。花期は9～10月。分布：CY

クワクサ (桑草)



草丈は 0.3～0.8m、桑によく似た葉をつけるが大きさはかなり小さい。葉の付け根に淡緑色の花の塊をつける。花期は9～10月。

ムラサキケマン (紫華鬘)



草丈 20~50cm、葉は2~3回、羽状に裂ける。花軸の周りに淡紫色の筒状の唇形の花を段状につける。花期は4~6月。分布：BC

ナガミヒナゲシ (長実雛芥子)



草丈は 15~60cm、葉は細かく裂ける。ダイダイ色の4弁花をつける。歓迎されざる外来植物。花期は4~5月。分布：佐保自然の森

ゴマノハグサ科

オオイヌノフグリ (大犬の陰囊)



長い花柄の先に青色の花をつけ、早春から咲く。道端に多い。果実がイヌノフグリに似ている。花期：3～5月。

タチイヌノフグリ (立犬の陰囊)



青色の小さな花をつけるが、花柄がないので花はあまり目立たない。花期：4～5月。

ムラサキサギゴケ (紫鷲草)



紅紫色の唇形の花をつける。湿地や湿り気のある土地に群生する。這う枝を出して広がる。花期：4～6月。分布：BC

トキワハゼ (常磐はぜ)



花形や色彩はムラサキサギゴケに似るが、上唇のみが紅紫色で下唇は白色。一株ずつ生える。花期：4～11月、分布：BC

キラソウ (金瘦草)



淡青色の唇形の花。葉は地面にふたをするように広がるので「ジゴクノカマノフタ」とも呼ぶ。花期：3～5月。分布：BC

アゼナ (畔菜)



小さな淡いピンク色の花を長い花柄の先につける。田の畔や池のほとりにはえる。花期：8～10月、分布：BC

ゴマノハグサ科

キクモ (菊藻)



水上には菊のように深く切れ込んだ葉をつけ
水中には糸状の葉をつける。花は紅紫色。衰退
している。 花期は 8～10 月。分布：BC

ムシクサ(虫草)



水田に生えるが、葉は小さく、草丈も低く 5
～20cm で目立たない。花は白色で果実に虫が寄
生することが多い。花期は 4～5 月。分布：BC

シソ科

ホトケノザ (仏の座)



草丈は 10～30cm。早春から葉のわきに紅紫色の筒状をした唇形の花をつける。上位の葉は茎を左右から抱きかかえる。花期は 3～6 月。

ヒメオドリコソウ (姫踊り子草)



草丈は 10～25cm。葉のわきに暗紅色の唇形の花をつける。上部の葉は暗紅色を帯びる。花期は 4～5 月。

ヒメジソ (姫紫蘇)



草丈は 20～60cm。茎の先端の花穂に淡紅紫色の花をつける。茎は四角で、葉には 4～6 個の鋸歯がある。花期は 9～10 月。分布：BC

イヌコウジュ (犬香薷)



草丈は 20～60cm。ヒメジソに似るが花は小さい。茎全面に細かい毛があり、葉には 6～13 個の鋸歯がある。花期は 9～10 月。分布：BC

トウバナ (塔花)



草丈は 10～25cm。茎の先端の花穂に小さな淡紅色の花を輪状につけて塔のように咲きあがる。やや湿ったところに多い。花期は 5～8 月。

アキノタムラソウ (秋の田村草)



草丈は 20～40cm。淡紫色の花が花穂に輪状につく。林縁部に生える。花期は 8～11 月。分布：彩の森、CY

タツナミソウ (立浪草)



草丈は 20~40cm で、茎の先に一方向に向いた唇形の青紫色の花をつける。生息地は局限され少ない。花期は 5~6 月。分布：BC

カキドオシ (垣通し)



草丈は 5~25cm。葉の脇によく目立つ淡紫色の花をつける。蔓性で倒れたところから根をおろす。花期は 4~5 月。分布：佐保、CY

スマイレ (堇)



紅紫色の大きめの花をつける。葉は長く、上と下で幅は変わらず、葉柄にはヒレがある。花期は4～5月。

アリアケスマイレ (有明堇)



白色の花をつける。葉は長細くてスマイレに類似する。花期は4～5月。分布：BC

ノジスマイレ (野路堇)



スマイレに似るが、花の大きさはやや小さく、花色はやや淡い。葉には細かい毛が密生し、花柄のヒレも目立たない。花期は4月。分布：BC

ナガバナタチツボスマイレ (長葉の立壺堇)



下位の葉はハート形だが、上位の葉はやや長めの葉。淡紫色の花をつける。林地内に多い。花期は4～5月。分布：里山林

シハイスミレ (紫背堇)



株はやや小型で、紅紫色の目をひく花をつける。葉の裏は紫色を帯びる。樹林地に多い。花期は5～7月。分布：里山林、自然林

ツボスマイレ (坪堇)



花は小さく、白色で紫色のすじがある。ハート形の葉をつける。やや湿った所に多い。花期は4～5月。

ニオイタチツボスミレ (匂立坪堇)



ハート形の葉をつける。花は大きく、紅紫色でよく目立つ。花には良い香りがする。
花期は4~5月。分布：BC、自然林

タチツボスミレ (立坪堇)



ハート形の葉をもち、淡紫色の花をつける。
ツボスミレとともに最も普通種。
花期は4~5月。

ヤブニンジン（藪人参）



草丈は40～60cm。羽状に裂けた葉をつける。花茎は数本に分かれ、その先に5～10個の小さな白い花をつける。種は細長い。花期は4～5月。

オオチドメ（大血止）



直径1.5～3cmの丸い葉をつけ、地面を這うように広がる。葉の周りには切れ込みがある。花は淡緑色で目立たない。花期は6～9月。

オヤブジラミ（藪虱）



草丈は30～70cm。羽状に裂けた葉をもつ。果実は3～6個つき、花柄は長い。果実が熟すると紫色を帯びる。花期は4～5月。

セリ（芹）



草丈は25～50cm。湿地に自生し、春の七草のひとつ。葉は3つに分かれ、花柄の先に白い花をつける。花期は7～8月。分布：BC

ミツバ（三葉）



草丈は30～60cm、葉は3小葉からなる。日陰に自生し、小さな白色の花をつける。香りが強い。花期は6～8月。分布：CY

タデ科

イヌタデ (犬蓼)



草丈は 30~50cm。茎の先の花穂に紅色の小さな花をびっしりつける。アカマンマとも呼ばれ、道端や野原に多い。花期は7~10月。

シロバナサクラタデ (白花桜蓼)



草丈は 0.5~1m。白色の長い花穂を一茎に数本つけることでサクラタデとは区別できる。湿地に多い。花期は8~10月。分布：BC

ボントクタデ (ぼんとく蓼)



草丈は 40~60cm。垂れ下がった花穂に紅色の小花をまばらにつける。葉に黒い斑がある。湿地に多い。花期は9~10月。分布：BC

アキノウナギツカミ (秋の鰻つかみ)



草丈は 20~100cm。白色~淡紅色の小さな花が10数個集まってつく。茎には細かい棘がある。湿地に多い。花期は8~10月。分布：BC

ママコノシリヌグイ (継子の尻拭い)



蔓草で茎には鋭い棘が下向きにつく。枝先にピンクの花がまるくかたまってつく。花期は5~7月。分布：実りの森

ミゾソバ (溝蕎麦)



草丈は 30~100cm。淡紅色の花が集まってつく。葉はほこ形で茎には棘がある。湿地に多い。花期は8~10月。分布：BC、CY

スイバ (酸い葉)



地際の葉は長楕円形で長さ 10cm と大きく、長い柄がある。葉の基部は矢じり形。酸味があることからスカンポとも呼ばれる。



草丈は 30~100cm。茎の先端に緑色の小さな花が群がる。
花期は 5~6 月。

ギシギシ (羊蹄)



地際の葉は楕円形で大きく、赤味を帯びた長い柄がある。



草丈は 40~100cm。上方の葉は柄がなく、茎に密着する。緑色の花が輪状に群がる。果実の先は三角形に尖る。花期は 6~8 月。

イタドリ (虎杖)



草丈はやや高く、0.3~1.5m。枝先の花穂に小さな白色の花をつける。新芽は食用になる。
花期は 7~10 月。分布：CY

ミズヒキ (水引)



草丈は 50~80cm。細い花穂に小さな赤い花をまばらにつける。葉は幅広く、黒い斑がはいる。花期は 8~10 月。分布：CY、実りの森

コギシギシ (小羊蹄)



草丈は 30～50cm。ギシギシに比べ小型で、葉の先端はまるい。花は葉の基部に輪状に集まる。果実は長くなって尖る。花期は 5～6 月。

ヤノネグサ (矢の根草)



茎は斜めにたち草丈は 20～50cm。葉の基部はほぼ一直線。花柄は赤褐色で 10 個前後の花の塊をつける。花期は 9～10 月。分布：BC

ツユクサ (露草)



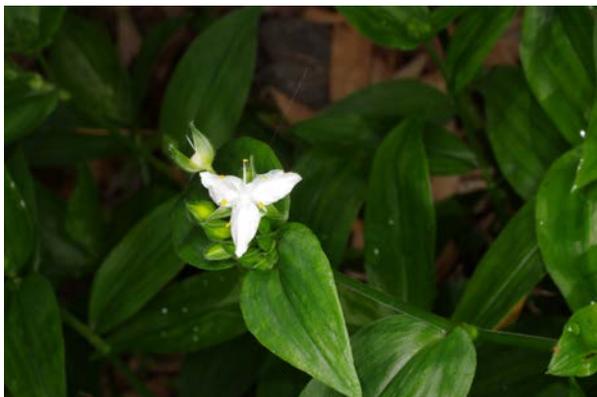
草丈は 20～50cm。2 枚の小さな緑色の葉に包まれるように青色の花をつける。花期は 6～9 月。

イボクサ (疣草)



草丈は 20～30cm。やや多肉質の葉をつけ、水田や湿地に自生する。葉の際に 3 弁の淡紅色の花をつける。花期は 8～10 月。

ノハカタカラクサ (野博多唐草)



斜めにたち、長さ 1m になることもある。葉はツユクサに似るが、花は白色で 3 弁。やや湿った木陰に自生。花期は 5～7 月。分布：CY

ヤブミョウガ (藪茗荷)



草丈は 50～100cm。6～7 枚の長楕円形の葉をつけ、先端に数段にわたって白色の花が咲く。木陰に自生する。花期は 8～9 月。分布：CY

エノキグサ (榎草)



草丈は 30～50cm。エノキのような葉をつける。葉の基部から赤味がかった花穂を伸ばす。花期は 8～9 月。

コニシキソウ (小錦草)



茎は赤褐色で根元から枝わかれし、地面を這うように横に広がる。葉は小さく、中央に黒い斑紋がある。花期は 8～10 月。

オオニシキソウ (大錦草)



草丈は 20～60cm。淡紫色を帯びた茎はやや斜めに伸びる。葉は楕円形で上面は青緑色、下面は白緑色。花期は 8～9 月。

ナス科

イヌホオズキ (犬酸漿)



草丈は 20~60cm。葉は広卵形で周りの切れ込みは弱い。茎の途中から花柄をだし、4~8 個の白色の花をつける。花期は 8~10 月。

アメリカイヌホオズキ (アメリカ犬酸漿)



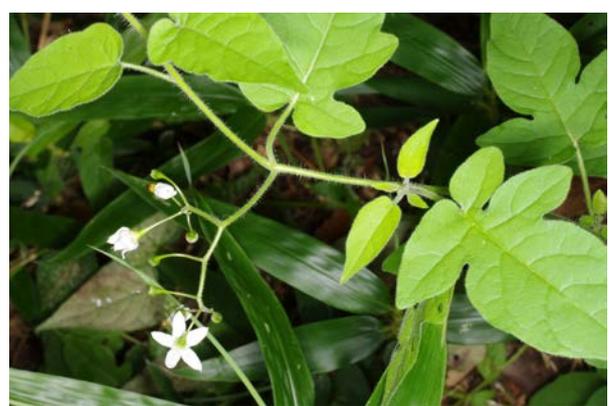
イヌホオズキに類似するが、葉は幅が狭く、周りは凹凸がある。花柄の一点から 2~5 個の紫色または白色の花をつける。花期は 7~9 月。

ホオズキ (酸漿)



草丈は 60~90cm で、枝分かれはほとんどなく直立する。黄色の大きな袋状の実をつける。花期は 6~7 月。分布：佐保

ヒヨドリジョウゴ (鶉上戸)



つる性の多年生植物。葉は裂けないものと 3~5 裂するものがある。白色の花をつけ、花後花びらが反り返る。花期は 8~10 月。分布：BC

ノミノフスマ (蚤の衾)



小さな草花で、茎は細く、葉も花も小さい。花は白色で5弁花が、深く切れこむので10弁に見える。花期は4~10月。分布：BC

ノミノツヅリ (蚤の綴り)



小さな草花で、茎は細く、葉も花も小さい。白色の5弁花で切れ込まない。花期は5~7月。分布：BC

ミミナグサ (耳菜草)



草丈は15~30cm。茎は暗紫色を帯び毛がある。葉は暗緑色で両面とも毛がある。白色の5弁花をつける。花期は5~6月。分布：彩の森

オランダミミナグサ



ミミナグサによく似ているが、茎は緑色、葉は淡緑色で毛が長い。全体に白っぽい感じ。本種が多い。花期は4~7月。

ハコベ (繁縷)



草丈は10~20cmで地に伏して分枝する。葉は小さく、長さ1~3cm。茎は淡緑色。花は白色の5弁花。花期は2~10月。

コハコベ (小繁縷)



ハコベによく似ている。葉はより小さく、長さ0.5~1cm。茎は紫色を帯びる。花期は2~10月。

ウシハコベ (牛繁縷)



ハコベに比べて全体に大型。草丈は20～50cm。茎は緑色だが、節の付近は紫色を帯びる。花は白色。花期は4～10月。

ヘビイチゴ (蛇苺)



水田の畔などやや湿り気のある所に自生。葉は3小葉からなり、蔓を出して広がる。花は黄色で、赤い実がなる。花期は4~6月。

オヘビイチゴ (雄蛇苺)



水田の畔などやや湿り気のある所に自生。葉は5小葉からなる。茎は倒れて広がる。花は黄色。赤い実につけない。花期は5~7月。

ワレモコウ (吾亦紅)



草丈は0.5~1m。葉は10個前後の小葉からなる。花は暗赤色で楕円形の塊となる。自生地は1か所のみ。花期は8~10月。分布：彩の森

キンミズヒキ (金水引)



草丈は0.4~0.9m。羽状複葉で小葉は大小入り混じる。花穂を伸ばし小さな黄色の5弁花をつける。花期は7~10月。分布：CY、実りの森

フユイチゴ (冬苺)



常緑のつる植物。茎にはまばらに棘がある。地面を這いまわる。花は白色で、果実は冬に赤く熟する。花期は7~9月。分布：里山林

クサイチゴ (草苺)



落葉する小低木。枝にはまばらに棘がある。葉は3または5小葉からなる。花は白色。花期は4~5月。分布：彩の森

ヒカゲイノコズチ (日陰猪子藜)



林内、林縁部に生える「ひつつきむし」で、花穂にまばらに種子が並ぶ。

花期は8~9月。分布：彩の森

ヒナタイノコズチ (日向猪子藜)



道端や荒れ地に多い。ヒカゲイノコズチに似るが、花穂に種子びっしりとつく。

花期は8~9月。

イヌビユ (犬苧)



茎の先に緑色の花穂をつける。葉の先が少し凹むことでホナガイヌビユと見分けられる。

花期は7~10月。

ヒユ (苧)



茎の先に花穂をつけるが、葉の付け根にも花がつく。栽培種が野生化したようで少ない。

花期は8~10月。分布：BC

ホソアオゲイトウ (細青鶏頭)



草丈は高く、0.6~2m。花穂は緑色で目立たない花をびっしりとつける。

花期は7~9月。

コヒルガオ (小昼顔)



ヒルガオに比べ、葉や花は小型。葉はほこ形で先は尖る。花柄にはヒレがある。地中に白色の根茎を伸ばし広がる。花期は3~6月。

マルバアサガオ (丸葉朝顔)



葉はほぼ円形で先端部のみがとびだす。花色は紅、青、白などいろいろある。

花期は7~9月。分布：BC

ホシアサガオ (星朝顔)



花柄が長く、花は五角形で薄いピンク色、中心部は色が濃い。南米からの外来種。

花期は7~9月。分布：BC

マメアサガオ (豆朝顔)



ホシアサガオに似るが、花はやや小さく、白色~薄いピンク色。北米からの外来種。

花期は7~9月。分布：BC

マルバルコウ (丸葉縷紅)



五角形でロート型の小さな朱色の小さな花をいっぱいつける。

花期は8~10月。分布：佐保

ネナシカズラ (根無葛)



寄生植物でいろいろな植物に寄生する。短い花穂の周りに白色の花をつける。葉は退化して微小。花期は8~10月。分布：CY

ゲンノショウコ（現の証拠）



草丈は 30～50cm。葉は手の掌状で 3 つに分かれる。西日本では赤花が多いが、東日本では白色が多い。花期は 7～10 月。分布：里山林

フウロソウ科

アメリカフウロ（アメリカ風露）



草丈は 10～40cm。葉は手の掌状で細かく裂ける。淡紅白色の花をつける。花後長い莢ができる。近年増えている。花期は 5～9 月。

ノブドウ (野葡萄)



つる植物。葉の形は、三角形のもの、裂けるものなど変化がる。果実は球形で熟すると黒紫色になる。花期は7～8月。分布：CY

ヤブガラシ (藪枯らし)



つる性で他の植物を覆い隠すように繁茂する。葉は5小葉からなる。花茎には多くの花がつき、昆虫がよく集まる。花期は6～8月。分布：CY

マメ科

カラスノエンドウ (烏野豌豆)



つる性で紅紫色の蝶形の花をつける。豆莢は細長く、熟すると黒くなる。生育は旺盛で蔓はよく伸びる。花期は3~6月。

スズメノエンドウ (雀野豌豆)



つる性で白紫色の蝶形の小さな花をつける。カラスノエンドウに比べると葉はかなり小さい。豆果は2個。花期は3~6月。

カスマグサ (カス間草)



つる性で、小さな淡青紫色の花を花柄の先に2個つける。少ない。
花期は4~5月。分布：BC

レンゲソウ (蓮華草)



花柄の先に紅紫色の蝶形の花を輪状につける。やや湿った所に多い。集団で咲くのでよく目立つ。花期は4~6月。分布：BC

ヤハズソウ (矢はず草)



淡紅色の小さな蝶型の花を葉のわきにつける。地面を這うように広がる。
花期は8~10月。

メドハギ (筮萩)



草丈は60~100cm。黄白色の蝶形の花で、花弁の一部が紫色の斑となる。茎は直立するが強くない。花期は8~10月。分布：実りの森

ミヤコグサ (都草)



鮮黄色の蝶形の花をつける。葉は地面を這うように広がり花柄は立ち上がる。それほど多くない。花期は4~10月。分布; BC

ネコハギ (猫萩)



茎は地を這うように広がる。茎上に3枚の複葉が連なり、葉のつけねに白色の蝶形の花がつく。花期は7~9月。分布: BC

クズ (葛)



秋の七草の一つ。紫赤色の蝶形の花をつける。蔓性で生育は非常に旺盛で回りの草花を覆い隠す。花期は7~9月

コメツブツメクサ (米粒詰草)



米粒くらいの黄色の花が球状に集まる。葉は地面を覆い隠すように四方に広がる。花期は5~7月。

シロツメクサ (白詰草)



白色の蝶形の花が球形の塊になる。別名はクローバ。葉は3葉で地面を覆うように広がる。花期は5~8月

クサネム (草合歓)



草丈は50~80cm。淡黄色の蝶形の花をつける。葉は羽状複葉。湿地に見られるが少ない。花期は7~10月。分布: BC

マメ科

ヌスビトハギ (盗人萩)



草丈は 60~120cm。淡紅色の蝶形の花をつけるが、アレチに比べて小さく白っぽく見える。豆莢は 2 節。花期は 8~9 月。分布：彩の森

アレチヌスビトハギ (荒地盗人萩)



草丈は 50~100cm。淡紅色の蝶形の花をつける。外来種で自転車道沿いに見られる。豆莢は 3~6 節ある。花期は 8~9 月。

ヤブツルアズキ (藪蔓小豆)



黄色で花の中央に爪形の花弁がある。蔓草で湿地や自転車道沿いに繁茂。花期は 8~9 月。分布：BC、CY



豆莢は細長く、アズキ型。

ノアズキ (野小豆)



黄色で花の中央に爪形の花弁がある。ヤブツルアズキに似るが、葉の形が若干異なる。花期は 8~9 月。分布：BC、CY



豆莢は短くて平たく、エンドウ型。

ヤブマメ (藪豆)



紅紫色の蝶形の花をつける。花弁の長さは1.5～2cm。林縁部に生える。葉はダイズ型で幅が広い。花期は9～10月。分布：BC、CY



豆莢は扁平、莢の縁に沿ってねた毛が並ぶ。種子は通常3個。

ツルマメ (蔓豆)



紅紫色の蝶形の花をつけるが、長さは0.5～0.8cm。蔓性で湿地に繁茂している。葉は長楕円形で3複葉。花期は8～9月。分布：BC、CY



豆莢はやや扁平。莢の全面に黄褐色の毛が密生し、エダマメの小型版。種子は2～4個。

マルバハギ (丸葉萩)



草丈は1～2m。草本状の小低木。小葉の先端は丸い。赤紫色の蝶形の花をつぎつぎにつける。花期は8～10月。分布：実りの森

コマツナギ (駒繫ぎ)



草丈は50～90cm。草本のように見えるが小低木。淡赤紫色の花を穂状につけて咲きあがる。花期は7～9月。分布：実りの森

キュウリグサ (胡瓜草)



草丈は10~30cm。小さな楕円形の葉をつけ、花穂は長く伸び、下から順次開花する。花色は淡青紫色で喉元は黄色。花期は3~5月。

ハナイバナ (葉内花)



草丈は10~15cm。葉のわきに淡青紫色の花をつけるが、喉元は白色。それほど多くない。花期は3~10月。分布：BC

キチジョウソウ (吉祥草)



ヤブランに似た細い葉が株元から立ち上がる。花穂も株元から伸び、紅紫色の花をつける。自生地は一か所。花期は9～10月。分布：自然林

コバギボウシ (小葉擬宝珠)



株は小さく、細い葉をつける。株元から花穂を伸ばし、数輪の淡紫色の花をつける。林縁部の湿地で自生。花期は7～9月。分布：CY

ショウジョウバカマ (猩々袴)



幅 2cm 前後の葉が株元から四方に伸びだす。林内の湿地に自生するが、あまり多くない。分布：里山林、自然林



株元から花茎を伸ばし、その先端に淡紫色の花を3～4個つける。花期は4～5月。

タカサゴユリ (高砂百合)



草丈は04～0.7m。茎の先端に白色のラッパ形の花を数輪つける。花期は7～9月。分布：実りの森

イチヤクソウ科

イチヤクソウ (一葉草)



林内に生え、円形の大きな葉をもつ。20cmほどの花茎に5~10個の白色の花をつける。少ない。花期は6~7月。

キツネノマゴ科

キツネノマゴ (狐の孫)



草丈は10~40cm。茎や葉には短い毛がある。茎の先に淡紅紫色の花を穂状につける。花期は8~10月。

ガガイモ (鏡芋)

ガガイモ科



つる性で長い心形の葉(長さ5~10cm)をつける。内面に白い毛のある淡紫色の花をつける。花期は8月。

サクラソウ科

コナスビ (小茄子)



広卵形の葉をつけ地面を這うように広がる。葉のわきに黄色の5弁の花をつける。あまり多くない。花期は5~7月。

コナギ (小名木)

ミズアオイ科



心形の葉をつける。葉よりも低い位置で短い花茎に5~6個の青紫色の花をつける。水田雑草として嫌われている。花期は9~10月。

シュウカイドウ科

シュウカイドウ (秋海棠)



草丈60cmくらいになり、柔らかい大きな葉をつける。ベゴニアに似た紅色の花を茎の上部につける。少ない。花期は8~9月。

リンドウ科

ツルリンドウ (蔓竜胆)



つる性で茎は黒紫色でものに巻きついでのぼる。葉の付け根に淡紫色の釣鐘型の花をつける。少ない。花期は8~11月。

トチカガミ科

ミズオオバコ (水大葉子)



葉は柔らかく水の中に沈み、白い花のみが水の上に伸び出す。ならやま西池でかつて見られたが、今は見つからない。花期は8~10月。

ドクダミ (葎草)

ドクダミ科



株全体に特有の悪臭がある。白い花はよく目立つ。民間薬のジュウヤクとして利用される。花期は6~7月。

ツヅラフジ科

アオツヅラフジ (青葛藤)



落葉性のつる植物。葉質はやや厚く、浅く3つに分かれ、先は丸まる。球形の青色の実が房状にかたまってくる。花期は7~8月。

アヤメ科

ニワゼキショウ (庭石昌)



草丈は低い。葉は細くて根元から四方に分岐する。花柄を伸ばして先に淡紫色の花をつける。果実はボール状。花期は5~6月。

ヤマノイモ科

ヤマノイモ (山の芋)



つる性で、葉は心形で他の植物に巻きついて。小さな白い花をいっぱいつける。肥大した根は食用になる。花期は8~9月。

ユキノシタ科

ユキノシタ (雪の下)



地表面をランナーを出して広がる。湿った日陰に群生する。花は白色5弁で、2枚は大きく、3枚は小さく紅色の斑点がる。花期は5~7月。

キキョウ科

ノヂシャ (野高苜)



草丈は50cm前後、茎は二股の別れを繰り返して伸びる。茎の先に淡青色の小さな花をかためてつける。湿地に自生する。花期は5~6月。

ヤマゴボウ科

ヨウシュヤマゴボウ (洋種山牛蒡)



草丈は高く、1~2m。茎は太く、赤みを帯びる。小さな白色の花をつけ、果実はブドウ状に並び熟すると黒紫色になる。花期は6~9月。

アカザ科

シロザ (白藜)



草丈は0.6~1.5m。若い頃は三角形の葉だが、草丈が伸びると細長い三角形となる。花は淡緑色で密集する。花期は9~10月

ツルアリドオシ (蔓蟻通し)



つる性の小低木。葉の基部に柄の長い白色花をつける。花後、赤橙色の球状の果実ができる。樹林内に自生する。花期は6~7月

スイカズラ科

スイカズラ (吸い葛)



つる性の小低木で、冬も枯れない。夕方、香りの強い花をつける。開花当初は白色、のちに黄色になる。花期は5~6月。

アケビ科

アケビ (木通)



つる性の木本。葉は楕円形の5小葉からなる。
花は淡紅色で、秋に大きな果実になる。
花期は4～5月。

スベリヒユ科

スベリヒユ (滑り莧)



楕円形で光沢の多肉性の葉をつけ、茎は赤褐色で地面を這う。花は黄色の小さな花。
花期は7～9月。